

2026年度 第2回 自然に学ぶ会 報告

日時：2026年5月3日（日）9：30 木ノ本駅集合

場所：長浜市木之本町杉谷 横山岳白谷登山口

10：00 スタート 約2.5km 14：10 終了

参加者：小西民人・水田有夏志・関澤友規子

橋本啓子・嶋林幸生・高村晴美（敬称略）

植田まゆみ（報告）

第2回目の森を学ぶ会は木之本町横山岳白谷登山口からスタートです。

午後から雨予報で、朝からどんよりと雲の厚い天候でしたが、駐車場周辺も新緑と草花が豊富で、川の流れもとても心地よいフィールドでした。

登山口に向かう林道からたくさんの植物が現れ、ゆっくりと観察できました。

オニグルミの雄花・雌花 雌花が印象的でした。



雄花と雌花



雌花

鮮やかな赤が印象的



雄花

沢山落ちていた



コマユミかコバマユミか

●コバマユミー小葉真弓 (2002.4.27)
Euonymus alatus var. *microphyllus*

1999年の6月に初めて芦生の森を訪れたが、その時、「ヒメコマユミ」と教えてもらった花が、もう枯れかけていて良い写真が撮れず残念に思っていた。先日、京都府立植物園に行ったとき、数本のヒメコマユミが花を付けているのを見つけた。いつもは気が付かないが、花の季節には目立つようになる。名標板には「コバマユミ」とあった。どちらの呼び方でも良いようである。

この木は「マユミ」の名前が付いているが、「alatus」とあるので、むしろニシキギの亜種である。ニシキギは枝にコルク質の翼を持っているのが特徴であるが、翼を持たないものは、「コマユミ」と呼ばれている。「ヒメコマユミ」は、更に葉が小さいので「ヒメ」が付くのであろう。

学名は*Euonymus alatus* var. *microphyllus*で、ニシキギ科ニシキギ属である。*microphyllus*は「小葉」の意。富山以西の本州と朝鮮に分布する。

ipericiさんから、学名の間違いを指摘していただき、訂正しました。ヒメコマユミの名前に反して、*microphyllus*は男性形です。西洋では姫は必ずしも「小さく可愛い」訳ではないのでしょう。
 (2007.5.18)



エゾエノキに虫こぶ



チドリノキにオトシブミ



エゾエノキのとがった虫こぶはエノキハトガリタマフシ。

チドリノキに細長いオトシブミを作るのはマルムネチョッキリかと思われる。



マムシグサの仲間の中を覗かせてもらう。

マムシグサの仲間の花は花弁や萼片などの構造はなく仏炎苞といわれる独特の形をしており、苞の中に肉穂花序の軸が一本立っている。雌雄異株で、キノコバエが花粉交配を仲介する虫媒花。雄花には仏炎苞筒部に小さな隙間があり昆虫が脱出できるが、雌花にはその部分に隙間がなく死の危険と直面することになる。

地下茎にあたる塊茎の貯蔵物質が少ないと花が咲かず、一定以上になると雄花をつける。さらに大きくなると雌花をつける。小さくなると雄花に逆戻りと可逆的な性転換をする。

(NPO法人帆柱自然公園愛護会 HPより)



オドリコソウ
登山口に沢山
蜜が甘い



シャク
あちこちに沢山



コクサギ
4分割の実・柑橘系の匂い



ヒメコウゾの雌花



タニウツギ
咲きはじめ



エビネ

今回見られた植物

アカネ	アカネ科	ウマノアシガタ	キンポウゲ科	クサイチゴ	バラ科
アケビ	アケビ科	ダンコウバイ	クスノキ科	アスナロ	ヒノキ科
エノキ	アサ科	ヤマコウバシ	クスノキ科	ヒメレンゲ	ベンケイソウ科
オオバタネツケバナ	アブラナ科	ケンボナシ	クロウメモドキ科	サルナシ	マタタビ科
コンロンソウ	アブラナ科	オニグルミ	クルミ科	コクサギ	ミカン科
ジャンンジン	アブラナ科	ヒメコウゾ	クワ科	ウリノキ	ミズキ科
ユリワサビ	アブラナ科	ムラサキケマン	ケシ科	クマノミズキ	ミズキ科
ワサビ	アブラナ科	マムシグサの仲間	サトイモ科	ミズキ	ミズキ科
ミヤマハハソ	アワブキ科	アキギリ	シソ科	オオモミジ	ムクロジ科
コメガヤ	イネ科	オドリコソウ	シソ科	チドリノキ	ムクロジ科
クジャクシダ	イノモトソウ科	カキドオシ	シソ科	トチノキ	ムクロジ科
アカソ	イラクサ科	ラショウモンカズラ	シソ科	ヤマモミジ	ムクロジ科
ミヤマイラクサ	イラクサ科	タニウツギ	スイカズラ科	オニルリソウ	ムラサキ科
イワタバコ	イワタバコ科	スミレサイシン	スミレ科	イカリソウ	メギ科
サワシバ	カバノキ科	ツボスミレ	スミレ科	ルイヨウボタン	メギ科
ニシノホンモンジスゲ	カヤツリグサ科	ウマノミツバ	セリ科	ヤマトアオダモ	モクセイ科
ヒゴクサ	カヤツリグサ科	シャク	セリ科	ウラジロウツギ	アジサイ科
ノブキ	キク科	ヤブニンジン	セリ科	ヤマネコノメソウ	ユキノシタ科
ハルジオン	キク科	ツツラフジ	ツツラフジ科	エビネ	ラン科
メタカラコウ	キク科	ホオズキ	ナス科	ニワトコ	ガマズミ科
ナルコユリ	キジカクシ科	ミヤマハコベ	ナデシコ科	ヤブデマリ	ガマズミ科
ミヤマナルコユリ	キジカクシ科	コバマユミ	ニシキギ科		
キブシ	キブシ科	コマユミ	ニシキギ科		
キリ	キリ科	エゾエノキ	アサ科		
イチリンソウ	キンポウゲ科	ウワミズザクラ	バラ科		



今回の参加者